防災センター勤務者などを対象とした活動チェックシート

防災センターの活動で、必要な項目を絞り込んだチェックシートを作成しました。防災センターや管理室の自衛消防隊員の行動を、短時間でも確認しやすいよう、任務ごとのポイントも記載しています。日頃の訓練に活用し、弱点を把握して克服につなげ、活動能力の向上を図ってください。

**訓練想定作成時における留意点**

１　想定**出火階**は、次のことを考慮して設定しましょう。

　避難階以外の階

　来館者等が多い階

　テナントが多い階

　同程度の条件の階が複数ある場合は、上階又は地階

２　想定**出火場所**は、次のことを考慮して設定しましょう。

　出火危険の高い厨房等の火気使用箇所

　寝具売場などの可燃物の多い場所

　バックヤードや倉庫室等

　喫煙所等

　　　その他出火危険が高いと想定される場所

**Ｐ**

**Ｄ**

**Ｃ**

**Ａ**

**(プラン)**

計 画

実 施

評 価

改 善

**本チェックシート活用方法**

**Ｐ（訓練計画）**・・・１ページ

**Ｄ（訓練実施）**・・・２～８ページ

**Ｃ（訓練評価）**・・・９ページ

**Ａ（訓練改善）**・・・

活動項目を点数化した検証結果表を活用し、以後の自衛消防活動能力向上に活用できます。

**(ドゥ)**

**(アクション)**

**(チェック)**

１

１　**防火対象物自衛消防隊長**の活動項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| １ | 火災確認中の旨の放送等の指示をしたか。  （放送設備連動の場合は省略） | **適・否** |
| ２ | 火災断定をしたか。  （現場からの火災連絡、受信機に複数の警戒区域が火災表示した場合、感知器発報とスプリンクラー設備が前後して作動した場合等） | **適・否** |
| ３ | １１９番通報指示又は通報済みの確認をしたか。 | **適・否** |
| ４ | 出火及び延焼状況の情報収集の指示をしたか。  （出火場所、燃焼物体、燃焼範囲の状況（炎、煙の拡散状況）、危険物品等の消火活動上支障のあるものの有無、出火原因） | **適・否** |
| ５ | 各種設備の作動停止指示をしたか。  （空調、常用ＥＶ、エスカレーター　等） | **適・否** |
| ６ | 関係者（管理権原者等）への連絡指示をしたか。 | **適・否** |
| ７ | 避難の情報収集の指示をしたか。  （逃げ遅れの有無、避難誘導状況、負傷者等の状況、避難者数） | **適・否** |
| ８ | 消火状況の情報収集の指示をしたか。  （消火器の使用状況、屋内消火栓の使用状況、スプリンクラー設備の作動状況） | **適・否** |
| ９ | 出火室に自力避難困難者が在室する場合は、安全防護班等に優先して出火室の避難救出の任務を指定したか。 | **適・否** |
| 10 | 区画形成の措置状況の情報収集の指示をしたか。  （出火階の防火戸及び防火シャッターは、他の階に優先して閉鎖させる） | **適・否** |
| 11 | 関係図書の準備をしたか。  （各階の平面図及び立面図、ダクト系統図、消防用設備等の設置図、その他必要な図書） | **適・否** |
| 12 | 消防隊への活動状況を報告したか。 | **適・否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | ／ |

**自衛消防隊長指揮活動のポイント**

　自衛消防隊長は、自衛消防隊の統括的な活動方針を決定しなければならない事から、各班からの情報を確実に収集することが重要である。

　自衛消防隊長は、人命の安全管理と、自衛消防隊員の安全管理を徹底する。

　各班への下命は具体的な活動内容を簡潔に行う。

　※あいまいな下命は、最前線にいる隊員を混乱させてしまいます。自信を持って下命できるよ　う、訓練を重ねてください。

２

２　**現場駆付担当**の活動項目

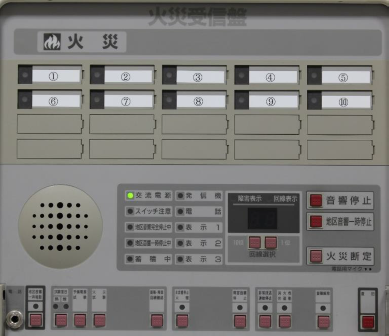
|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| 現場駆付け者 |  自動火災報知設備の発報表示場所を確認したか。 | **適 ・ 否** |
|  各隊員は、自衛消防隊長から現場任務を確認したか。 | **適 ・ 否** |
|  事前計画の携行品を持参したか。  （消火器、メガホン、無線機、マスターキー、非常用ＥＶキー等） | **適 ・ 否** |
|  現場への駆付けは、最短距離又は最短時間（非常用ＥＶ、避難階段の選択）であるか。 | **適 ・ 否** |
|  非常用ＥＶの消防一次運転の操作は適正か。  　　（ボタンの押し方、到着時の消防運転の鍵の切の操作等） | **適 ・ 否** |
|  出火階到着から感知器発報区域まで迷わずに駆付けられたか。 | **適 ・ 否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | ／ |

**現場確認のポイント**

　消火器、懐中電灯、非常用エレベーターの消防運転専用キー、マスターキー等を携行する。 　非常用エレベーター又は停電時最寄階停止装置付きの常用エレベーターを活用する。

**※**非常用エレベーターは附室（区画）があるため、原則、現場の確認を行う者は、出火階まで利用できる。ただし、火災の状況に応じて、出火階の直下階までの使用とする。

停電時最寄階停止装置付きの常用エレベーターは、乗降ロビーに区画等がないため、現場の確認を行う者は、出火階の直下階まで使用できるが、それより上階へは階段を利用する。



**発報階の表示**

**非常用エレベーターの一次消防切替方法**

* 扉が閉まりエレベーターが動き出すまで、目的階のボタンを押し続ける。

３

　３　**通報連絡（情報）担当**の活動項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| 消防機関等への通報 |  火災を発見した者、又は現場確認者等から火災の連絡を受けた時、直ちに１１９番通報をしたか。 | **適 ・ 否** |
|  １１９番通報（火災通報装置(有人直接通報等)の場合は東京消防庁からの問い合わせに対する応答）は、慌てず正確に実施できたか。 | **適 ・ 否** |
|  ア　火災である旨  イ　所在地､建物の名称及び目標建物  ウ　火災の状況（出火階､燃焼物､逃げ遅れの有無等）  ３点を慌てず正確に報告できたか。 | **適 ・ 否** |
|  防火対象物自衛消防隊長又は防火対象物地区隊長及び関係者（管理権原者等）への火災発生（及び１１９番通報済み）の連絡をしたか。 | **適 ・ 否** |
| 情報収集 | (1) 出火場所を確認したか。 | **適・否** |
| (2) 何が燃えているかを確認したか。 | **適・否** |
| (3) 逃げ遅れを確認したか。 | **適・否** |
| (4) 負傷者の有無及び状況を確認したか。 | **適・否** |
| (5) 区画形成状況を確認したか。 | **適・否** |
| (6) 防火対象物自衛消防隊長へ前(1)から(5)の情報を連絡したか。 | **適・否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | ／ |

**通報、連絡のポイント**

**１１９番通報のタイミング**

ア　火災を発見した時

イ　自動火災報知設備の受信機の地区表示灯が**複数点灯**した時

ウ　自動火災報知設備とスプリンクラー設備等の複数の設備が**同時に作動**した時

エ　社会福祉施設や多数のお客が集まる物品販売店舗等で、現場確認後の通報では被害が拡大することが予想される防火対象物では、自動火災報知設備が作動した時（自動火災報知設備が作動した旨を第１報として通報し、その後、把握した情報を第２報として通報する。）

 **１１９番通報の実施者**

ア　火災を発見した者又は付近の者が１１９番通報する。

イ　防災センター等がある場合には、防災センター等を経由して１１９番通報する。

※ 防災センター等がある場合には、通報の正確性や情報収集から防災センターを経由して１１９番通報してください。

４

４　**初期消火担当**の活動項目

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 活　動　項　目　等 | | **チェック欄** |
| 初期消火 | 消火器 |  現場に駆付ける途中、消火器を携行したか。 | | **適 ・ 否** |
|  火災発見時に「火事だ！」と周囲に聞こえる声で知らせたか。 | | **適 ・ 否** |
|  躊躇なく消火器で初期消火を行ったか。  （場合によっては消火器を使わずに最初から屋内消火栓を使ってもよい。） | | **適 ・ 否** |
|  消火器の操作手順等は適正か。  　ア　安全ピンを抜き、ノズルを火点に向け、レバーを握る順番の動作はできているか。  イ　有効射程距離（一般的な消火器の場合は３～５ｍ）を考え安全な範囲で火元に近づき、姿勢を低くして放射したか。 | | **適 ・ 否** |
|  消火不能の場合は、他の任務に移行しているか。 | | **適 ・ 否** |
| 屋内消火栓（該当する場合） |  直近で火煙の危険のない屋内消火栓を使用したか。 | | **適 ・ 否** |
|  燃焼物は水による消火で適正か。  （燃焼物は電気設備や禁水性の危険物などでないこと。） | | **適 ・ 否** |
|  屋内消火栓の操作手順は適正か。 | | **適 ・ 否** |
| 1号  消火栓 | ア　起動ボタンを押す。  　イ　慌てずにホースを延長する。  　ウ　放水始めの合図と共にバルブを全開にする。  　エ　ホースの引っ張り防止を行う。  　オ　筒先の確保及びノズルの操作を適正に行う。 |
| ２号  消火栓 | ア　起動ボタンを押す。  イ　消火栓開閉弁を開く。  ウ　慌てずにホースを延長する。  エ　筒先の確保及びノズルの操作を適正に行う。 |
|  延焼状況により２つ目の屋内消火栓の使用は適正か。 | | **適 ・ 否** |
|  延長ホースが防火区画を構成する防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。 | | **適 ・ 否** |
|  消火不能の際の撤退時に、ホースが防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。 | | **適 ・ 否** |
|  消火不能の場合は、他の任務に移行しているか。 | | **適 ・ 否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | | | ／ |

**初期消火のポイント**

|  |  |
| --- | --- |
| 消火設備等 | 消火の目安 |
| 消火器、水バケツ等 | ・退路を確保した上で、**天井に火が移るまで**を目安に消火を行う。  ・火災発見時に炎が天井に達している場合や出火室内が延焼拡大中の場合は、消火はせずに避難する。 |
| 屋内消火栓等 | ・退路を確保した上で、操作者が危険のない範囲で消火を行う。 |

５

５　**館内放送担当**の活動項目

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| 館内放送 | 放送設備がある場合 |  放送は同一の者が実施したか。 | **適 ・ 否** |
|  在館者への避難誘導放送は、火災発生確認後、速やかに行われたか。 | **適 ・ 否** |
|  放送内容のマニュアルが用意されているか。 | **適 ・ 否** |
|  放送設備の放送内容は適正か。  　ア 放送選択階は、適正か。  　イ 声は落ち着いて、明確な指示口調か。  　ウ 放送内容は分かりやすいか。  　エ 繰り返し放送しているか。 | **適 ・ 否** |
|  階選択は出火階及び出火直上階を優先したか。 | **適 ・ 否** |
|  放送内容に避難時のＥＶの使用禁止が含まれているか。 | **適 ・ 否** |
|  全館放送する時期は適正か。 | **適 ・ 否** |
| ない場合 |  出火階以外の階へ火災発生及び延焼状況の連絡を行ったか。 | **適 ・ 否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | | ／ |

**館内放送のポイント**

　簡潔で分かりやすい内容とする。

　明確に落ち着いた口調で、各放送を２回程度繰り返す。

　誰がこの放送を行っているのかを明確にする。 （例「こちらは防災センターです。」等） 　放送する者はできるだけ同一人とする。

　避難にはＥＶ（エレベータ）を使用しないよう付加する。

　自動火災報知設備と連動していない場合は、非常起動ボタンを押下する。

　（業務放送と非常放送が同時に流れてしまうため）



**非常起動ボタン**

**放送階選択**

６

６　**避難誘導担当**の活動項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| 避難誘導 |  現場における避難誘導は、メガホン、拡声器等を活用したか。 | **適 ・ 否** |
|  安全な方向へ避難誘導したか。 | **適 ・ 否** |
|  出火室の入所者（自力避難困難者）等を優先して救出したか。 | **適 ・ 否** |
|  誘導員の配置は、階段、通路角、ＥＶ前等に配置したか。 | **適 ・ 否** |
|  エスカレーターやＥＶによる避難をしていないか。 | **適 ・ 否** |
|  出火区画内の逃げ遅れの確認をしたか。 | **適 ・ 否** |
|  区画内の避難完了ごとに、防火対象物自衛消防隊長又は防火対象物地区隊長へ状況報告をしたか。 | **適 ・ 否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | ／ |

**避難誘導のポイント**

　避難誘導の原則

ア　避難は、特別避難階段等安全な階段を使用することを原則とし、避難器具は他に避難の手段がない場合に使用させる。

イ　避難の際に、エレベーターは使用させない。

ウ　避難誘導する際は、火災発生階及び直上階を優先して避難させる。

エ　一度避難した者を､再び建物内に戻らせない｡

オ　誘導員が退避するときは逃げ遅れた者がいないことを確認し､防火戸等を閉めて退避する｡

　歩行困難な者に対する避難誘導

のほか次の事項に留意して、避難誘導を行う。

ア　避難誘導員による介助により避難させる。

イ　避難誘導員のみで、全員を一斉に避難させることが難しい場合には、安全に区画されている廊下、階段、直下階などに一次的に誘導し、地上に向かって徐々に避難させる。防災センター等と適宜連絡をとり、到着した消防隊に一次的に避難している場所を情報提供する。

ウ　車いす等があれば活用し、避難させる。

　火や煙により階段が使用不能時の避難・避難誘導

ア　消防隊の救助が可能なベランダや隣接区画等の一時的に安全な場所へ避難させ､懐中電灯や手を振る等合図により場所を知らせる｡(消防隊又は防災センターへの連絡は､内線電話､ 非常電話等により行う｡)

イ　直近の避難器具を活用し､ 避難させる｡

ウ　火煙により廊下にも出られない場合は､出入口の戸を確実に閉めて煙の流入を防ぎ､消防隊の救助を待つ｡この場合の合図は、アと同じです。

７

７　**安全防護区画担当**の活動項目

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 活　動　項　目　等 | **チェック欄** |
| 安全防護区画 | 出火区画 |  出火場所の防煙たれ壁を作動したか。 | **適 ・ 否** |
|  出火場所の排煙設備を作動したか。 | **適 ・ 否** |
|  出火区画の防火戸、防火シャッターは閉鎖したか。 | **適 ・ 否** |
| 隣接区画 |  出火階の水平区画を形成したか。 | **適 ・ 否** |
|  防火シャッターは避難者の障害とならないようにしたか。 | **適 ・ 否** |
|  自動閉鎖式の防火戸を状況によって手動で閉めたか。 | **適 ・ 否** |
|  排煙設備を作動したか。 | **適 ・ 否** |
| 竪穴区画 |  エスカレーターを停止したか。 | **適 ・ 否** |
|  出火階の竪穴区画を形成したか。 | **適 ・ 否** |
| 集　計　　　　　（適の数／該当項目） | | | ／ |

**安全防護措置のポイント**

　防火区画の設定

　ア　出火階の防火戸及び防火シャッターは、他の階に優先して閉鎖する。この場合､階段等の竪穴区画を優先し､ 次いで水平区画を行う。他の階にあっても順次同様に閉鎖する。

イ　自動閉鎖式の防火戸であっても､自動閉鎖を待つことなく手動で閉鎖する。

ウ　避難経路となる部分の防火戸を閉鎖する場合は､避難誘導員と連携をとりながら行う。

　排煙設備の作動と空調設備の停止

ア　排煙設備が設置されている場合は､避難や消火活動を容易にするため**早期に作動させる**。　ただし､状況により火煙を拡大させるおそれがあるときは､排煙口の開放を中止する。

イ　空調ダクトに火煙が流入し煙の拡散や、空気吸込み口から火源を吸い込む等の危険性があることから､空調設備は**原則として停止させる**。

・竪穴区画とは・・・避難階段など、複数の階にまたがっている防火区画（縦方向の区画）

・水平区画とは・・・フロアや各部屋の単位の防火区画（横方向の区画）

８

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 自衛消防活動の検証結果表  **１　自衛消防活動項目の検証結果**  **※**太枠の「該当項目数」は、各担当の「チェック欄」で該当する項目数を記入してください。  　　太枠の「適の数」は、該当する項目で「適」となった数を記入してください。 | | | | |
| **検 証 項 目** | | | **該当項目数** | **適の数** |
| 自衛消防隊の　活動項目確認表 | 隊　長 | 自衛消防隊長 |  |  |
| 隊　員  (対応者が複数の場合がある。) | 現場駆付 |  |  |
| 通報連絡（情報） |  |  |
| 初期消火 |  |  |
| 館内放送 |  |  |
| 避難誘導 |  |  |
| 安全防護区画 |  |  |
| **合　　計** | | |  |  |

※　該当しない部分については斜線を引いてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **２　自衛消防活動項目の検証結果（前３）の評価点数** | | | | | | | | |
| **評 価 点 数**  (（**適の数**合計②）／（**該当項目数**合計①）)×１００＝ | | | | | 点 | | 評価ランク | |
| ※　１未満の数は切り捨てます。 | | | | | | | | |
| **３　評価点数（前２）の評価ランク表** | | | | | | |
| **評価ランク** | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ | |
| **評価点数** | １００～９０点 | ８９～８０点 | ７９～７０点 | ６９～６０点 | ５９～０点 | |
| **４　活動時間の検証結果** | | | | | | |
| **検 証 項 目** | | | | **時　間** | | |
| 　消火器による初期消火（成功もしくは不能） | | | | 分　　　秒 | | |
| 　屋内消火栓等による初期消火（成功もしくは不能） | | | | 分　　　秒 | | |
| 　１１９番通報 | | | | 分　　　秒 | | |
| 　避難誘導完了 | | | | 分　　　秒 | | |
| ※　測定時間は、**自衛消防隊長に報告された時間**とします。 | | | | | | |

９